

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	越前市社会福祉協議会 デイサービスセンター芦山		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		～ R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		～ R8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多世代交流	高齢者が通う通所介護事業所が共生型として事業している為、幅広い年齢が一つの事業所を利用しています。長期休暇期間中などは、高齢者とともにレクリエーション活動に参加し、多世代交流が図られています。	行事等を通じ交流が推進できる取り組みを検討していきます。
2	・安全な入浴の提供	高齢者が通う通所介護事業所である為、仰臥位で安楽に入浴することができるシャワー入浴装置を装備しており、安全に入浴を実施することができています。常時、看護師が配置されており、医療的ケア児も安心して入浴することができています。	入浴解放の取り組みを行っており、必要な方にいつでも入浴が出来るように地域に向けた入浴場所の一つとして浴室の開放を行っています。
3	・視覚支援の充実	・日々のスケジュールや時間を視覚化し、次の行動に移ることが出来るように工夫しています。 ・おもちゃをしまう箱に、入っている中身の写真を貼り、一人でも写真のように片付けが出来るようにしています。	・現在用意している視覚支援でも理解が難しい利用者に向けて環境構成を整備し、わかりやすい視覚支援の作成を進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員のスキルや経験	高齢者が通う通所介護事業が共生型として事業しています。障害分野に関する専門的支援のスキルや経験値が浅いことがあります。資格取得や研修への積極的な参加を図っています。	専門家よりコンサルティングを受け、実際の支援を見て頂きながら、新たな支援方法や専門的支援について助言や指導を受けてスキルアップを目指しています。
2			
3			